

第3章 バリアフリー化の状況

1. バリアフリー化の取り組み状況

(1) 鉄道車両

① JR両毛線

主力車両は107系、115系及び211系の通勤用車両が導入されています。
115系には車いす用スペースのある車両も導入されています。



107系車両



211系車両



115系車両



115系車いす用スペース

② 東武日光線・東武宇都宮線

主力車両は6050系と30000系が導入されています。6050系はトイレが付いており、30000系車両には車いす用スペースが1編成あたり2箇所設けられています。



6050系車両



6050系トイレ



30000系車両



30000系車いす用スペース

(2) 民間バス車両

栃木駅北口から國學院大學栃木学園間を結ぶ路線バス車両は、16両のうち5両がバリアフリー対応車（ワンステップバスを含む）となっています。

運行事業者である関東自動車（株）では、イベントの時などに段差がなく、車いすの乗降に対応したノンステップ車両を展示し、試乗体験を行うなど、バリアフリー化に取り組んでいます。



従来の車両



最新型のノンステップ車両

(3) コミュニティバス「ふれあいバス」車両

ワンステップバス、ノンステップバスなどの低床車両や車いす対応車両の導入を進めています。また、障がい者割引や運転免許返納者に対する回数券の交付を行っています。



レトロバスとボンネットバス



小型バス（補助ステップ搭載）



(4) 一般タクシー車両

中心市街地には複数のタクシー事業者があり、各事業所をはじめ、栃木駅、新栃木駅などを乗車拠点としてサービスを展開しています。

車両については、大人数で利用できるジャンボタクシーや、車いす又はストレッチャーが搭載できる福祉車両、助手席回転シート車両、後席左側回転シート車両などが導入されています。

また、障がい者割引、運転免許返納者割引などを実施しており、乗務員にはホームヘルパー2級資格者がいます。



ジャンボタクシーの例



福祉車両の例

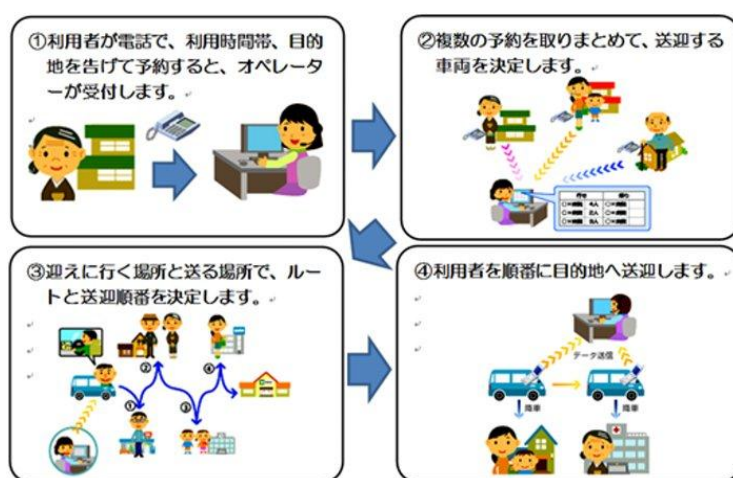
(5) デマンドタクシー「蔵タク」

高齢社会の進展に伴う交通弱者の増大や、地域の移動ニーズの多様化に対応するため、平成23年10月から市内全域でデマンドタクシー「蔵タク」の試行運行を開始しています。

「蔵タク」は、事前に利用登録をし、利用時間帯や目的地を告げて予約することにより、自宅から目的地まで直接行くことができる便利な公共交通機関として、利用の増加と本格運行への移行（平成26年4月予定）を目指しています。車いすでの利用も可能です。



また、障がい者割引や運転免許返納者に対する回数券の交付を行っています。



(6) 移送サービス等

車いす利用者等の移動を支援する移送サービスについては、市が社会福祉協議会に委託して実施している「障がい者等移送サービス（有料、登録制）」があります。また、社会福祉協議会では、車いすのまま乗降できる車両の無料貸出も行っています（燃料費は利用者負担）。

さらに、NPO（特定非営利活動法人）等による「福祉有償運送※」も実施されています。

※NPO法人等が、営利とは認められない範囲の対価によって、乗車定員11人未満の自家用自動車を使用して当該法人等の会員に対して行う原則としてドア・ツー・ドアの個別輸送サービスをいいます。



障がい者等移送サービス用車両

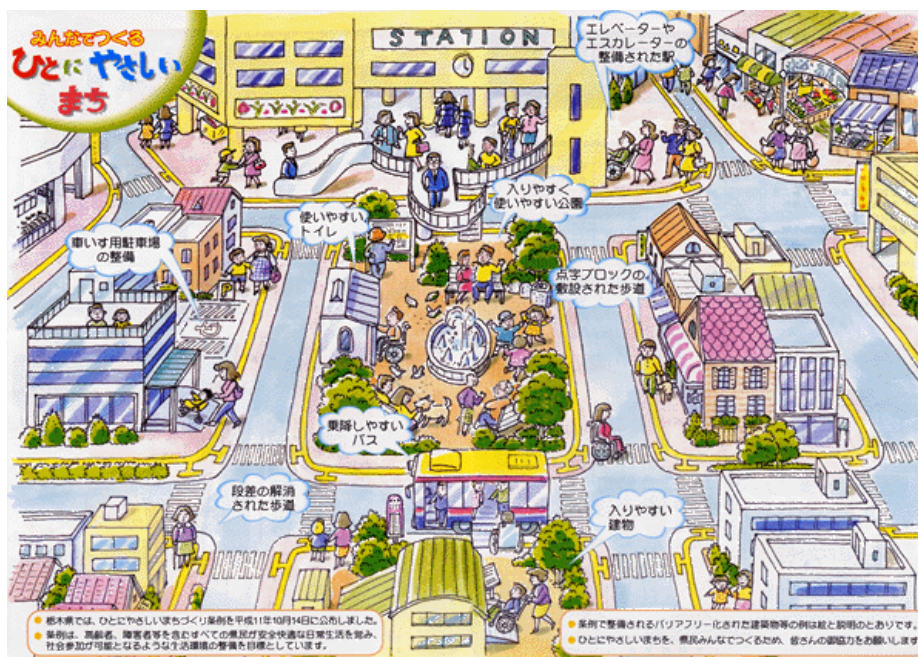


貸出用車両

(7) ひとにやさしいまちづくり条例（県）

県では、平成12年10月に「ひとにやさしいまちづくり条例」を施行しました。この条例では、県民・事業者及び国・県・市町村の責務を明文化するとともに、特定の要件を満たす公共的施設を新築・改築するときに適合させなければならない整備基準を定めています。

これにより、さらなるバリアフリー化を促進し、高齢者や障がい者を含むすべての県民が安全で快適な日常生活を営むとともに、積極的に社会参加ができる「ひとにやさしいまちづくり」が実現されるものと期待しています。



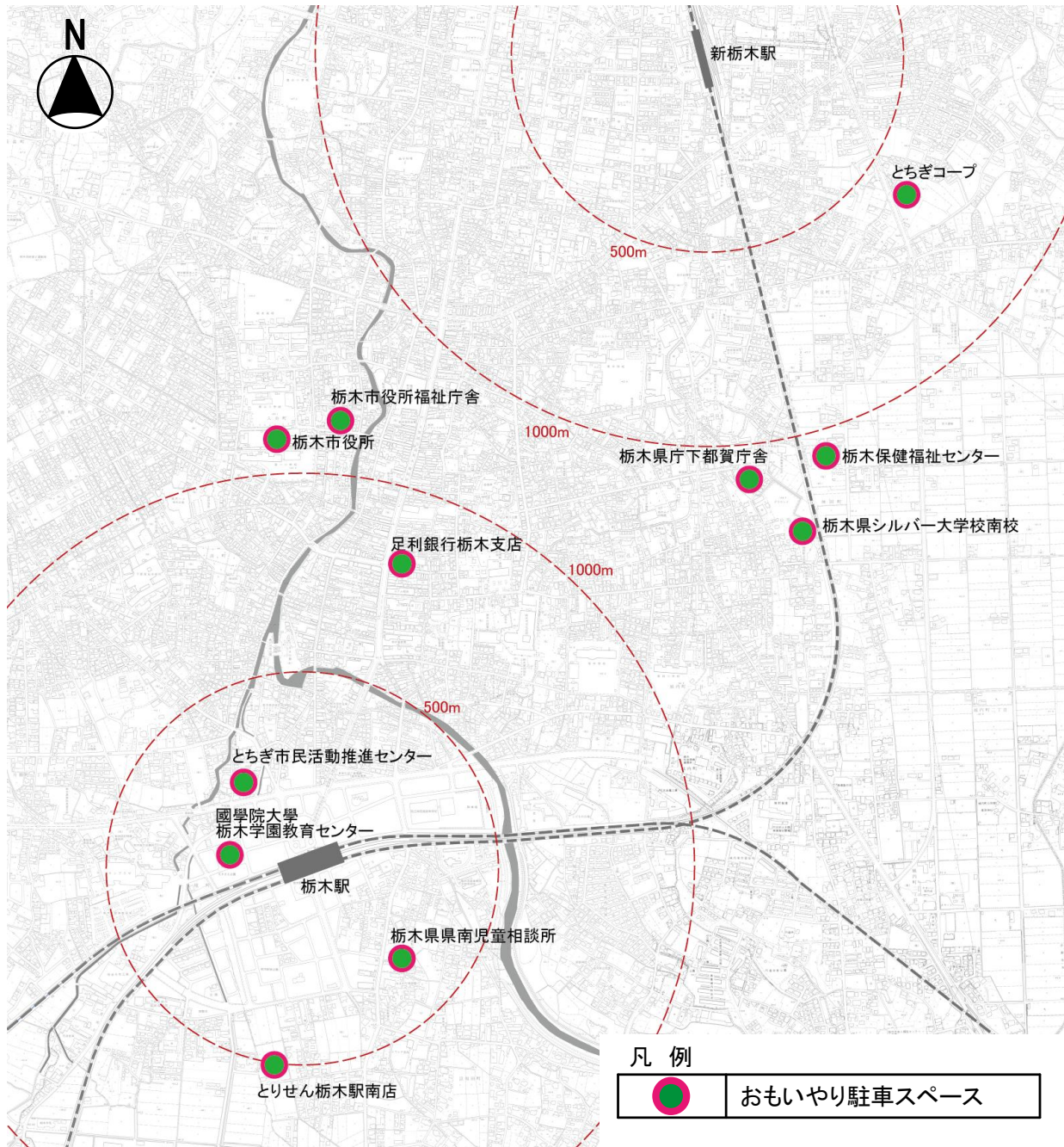
(8) おもいやり駐車スペースつぎつぎ事業（県）

多くの人が利用する店舗や病院などの施設には、身体に障がいのある方のための駐車スペースが設けられるようになりました。一方この駐車スペースを確保しておくための統一ルールがなかったため、県内に共通する利用証を交付することにより、障がい者用の駐車場を利用できる方を明らかにし、本当に必要な人のために駐車スペースを確保する「おもいやり駐車スペースつぎつぎ事業」を平成20年9月から実施してきました。

駐車スペースのさらなる確保と周知を図るため、平成24年4月1日から駐車スペースの増加を目的とした「おもいやり駐車スペース『倍増』プロジェクト」を実施しています。



おもいやり駐車スペースの状況（県公表資料、平成24年6月現在）



おもいやり駐車スペースの設置事例（利用証がある人のみ利用可能）

2. 市民の意向

市民アンケート、まち歩き及びワークショップを通じ、検討範囲におけるバリアフリー化に関する市民の意向を整理しました。

【市民意見等の収集方法に関する概要】

①アンケート調査（栃木駅・新栃木駅周辺地域住民）

- ◆実施時期：平成24年6月下旬～7月上旬
- ◆対象者：栃木駅周辺及び新栃木駅周辺地区住民1000名（障がい者含む）
- ◆回収率：38.6%
- ◆質問内容：よく利用する施設、移動手段、バリアフリーに関する意見等

②まち歩き（高齢者・障がい者及びボランティア）

- ◆実施時期：平成24年8月2日（木）
- ◆実施箇所：栃木駅及び市役所までの経路、新栃木駅及び市役所までの経路についてバリアフリーに関する課題を点検（一部区間はタクシーで移動）
まち歩き終了後に市役所にて点検結果を報告（ワークショップ形式）



③パブリックコメント（全市民）

- ◆実施時期：平成25年1月～2月（約30日間）
- ◆実施内容：バリアフリー基本構想（素案）に関する意見をホームページ上で公募

注）市民意向の整理については、専門家（コンサルタント）や交通事業者の意見による補足も行っています。

注）写真等は、“まち歩き”及び現況調査時に撮影したものです。

(1) 鉄道駅について

① JR 栃木駅

- トイレが不便
 - ・ 多機能トイレ（回転ドア式）の説明をもっとわかりやすくしてあるとよい。
 - ・ 多機能トイレの構造については車いす利用者にとって便利である。
- ホームに柵があるとよい。
- エレベーターのドアが閉まるのが早い。
- エレベーターを降りるときの音声案内が遅い。
- 改札前と改札内にベンチがほしい。
- 車いすを常備してほしい。
- 音声案内が少ない。
- 改札口に案内係員がいて大変よい。



回転ドア式多機能トイレ



ホーム



エレベーター



改札内

②東武栃木駅

- パスモチャージ用券売機が1台しかなく混雑時困る。
- トイレが遠くてわかりにくい（改札内が広く）。和式が多くて使いづらい。
- 音声案内が少ない。
- 改札前にもベンチがほしい（改札内にはベンチあり）。
- 階段脇にラックがあるのは通行の邪魔である。



改札内



トイレ案内図



改札内のベンチ



階段脇のラック

③栃木駅南北連絡通路（コンコース）

- 自転車を押して入るときに滑りやすい。
- ベンチがないので待ち合わせに不便。
- 駅構内に入ったことを知らせる音声案内がほしい。
- 案内所の周りが暗い。



南北連絡通路内



南北連絡通路案内所付近

④東武新栃木駅

- 車いすでは改札幅が狭い。
- エレベーターがないため車いすの昇降を駅員が手伝っており大変そう。
- ホームにエレベーターやエスカレーターがほしい。
- 跨線橋の階段には手すりがあるが、橋上部分にはない。
- ホームに柵があるとよい。
- ホームの点字ブロックが直線でないため利用しづらい。
- トイレ出入口の段差が気になる。
- 多機能トイレと洋式トイレがほしい。
- 車いす用スロープのポール下の角を削ったほうがスムーズに曲がれる。
- 車いすを常備してほしい。
- 駅前に公衆トイレがない。



改札口



跨線橋の階段手すり



跨線橋の橋上部



ホームの点字ブロック



トイレ出入口



車いす用スロープ

⑤新栃木駅東西自由通路

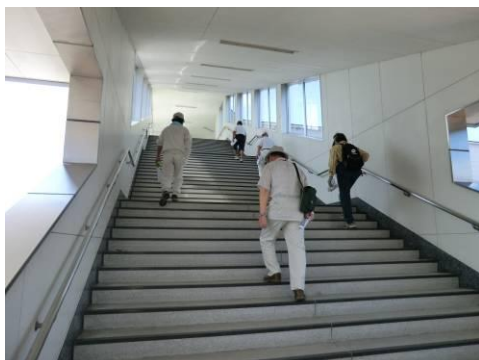
- エレベーターの案内板が小さくわかりづらい（東西とも）。
- 階段及び通路が広い中央にも手すりがほしい。
- 西口はエレベーターのボタンまで手すりが続いていたほうがよい。
- ホームに降りるエレベーターと改札口を設置してほしい。



西口側エレベーターへの通路
(右側に小さい案内板)



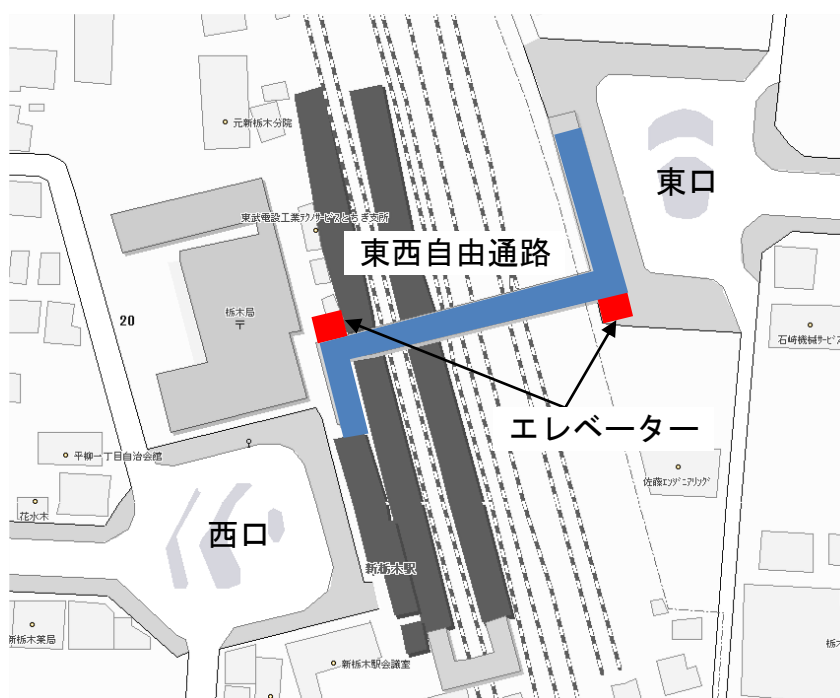
東口側エレベーター
(左側に小さい案内板)



自由通路階段



自由通路橋上部



(2) 駅前広場について

① 栃木駅北口駅前広場

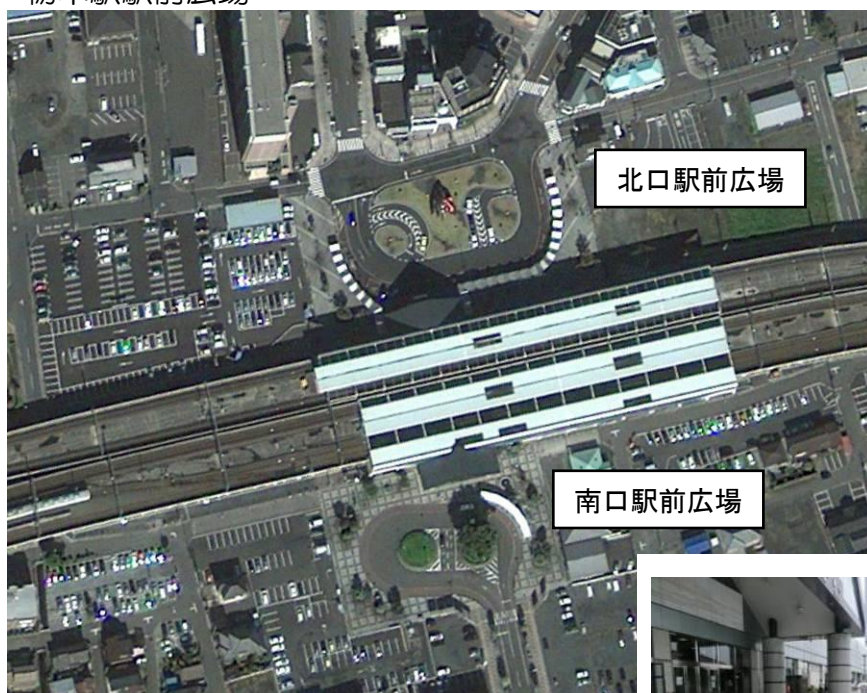
- 駅出口から北口周辺案内図（触地図）までの点字ブロックが遠回りである。
- バス乗り場の標識が複数あり、字も小さくわかりづらい。
- サークルベンチは木陰になって気持ちがよい。



② 栃木駅南口駅前広場

- 歩道と車道の段差が大きい。
- バス乗降場まで点字ブロックが連続していない。

栃木駅駅前広場



③新栃木駅西口駅前広場

- 郵便局側歩道との段差が気になる。
- バス停が路面表示されていないため一般車が駐停車し、ふれあいバスがバス停に着けられないことがある。



④新栃木駅東口駅前広場

- 点字ブロックが変色して認識しづらい（ブロックの幅を広くしてほしい）。
- 歩道の段差が大きく車いすの乗り上げが困難（排水溝の影響もあり）。
- 障がい者用乗降場のスロープがきつい。
- 自転車が違法駐輪しており歩行の支障となっている。
- 小さい舗装タイルは車いすの走行に振動が生じる。
- 車を降りてから雨に濡れないようアーケードなどがほしい。
- 広場南側の市道から来る車が見えづらい。



新栃木駅駅前広場



(3) 道路・信号機等について

①排水側溝の溝が大きいなど危険な箇所（主な箇所）

- 1-1 新栃木駅東口周辺市道の排水溝（市道 A186 他）（網目幅 3 cm）
- 1-2 万町交差点部歩道の排水溝
- 1-3 市役所通りの側溝蓋（市道 106）
- 1-4 銀座通りとみつわ通り交差部のマンホール



②歩道がない、または歩道が狭い箇所（主な箇所）

- 2-1 県道南小林栃木線（栃木駅南側）
- 2-2 栃木駅北口～栃木女子高（市道 105、203）
- 2-3 今泉町 1 丁目交差点～泉寿園（市道 102）
- 2-4 第 4 小学校の通学路（市道 107）
- 2-5 巴波川西側の綱手道（市道 A47）

「視覚障がい者とボランティアは並列で歩くため車に気をを使う」



③歩道の段差が大きく車いす等の通行が困難な箇所（主な箇所）

- 3-1 栃木駅北口駅前広場
- 3-2 新栃木駅東口駅前広場
- 3-3 銀座通りの横断歩道部の歩道（切り下げなし）
- 3-4 旧第1小学校西側（市道106）



④歩道のわずかな高低差が弱視者にはわかりづらい箇所（主な箇所）

- 4-1 みつわ通りの車道と歩道の境界部分（市道A51）



⑤歩道の勾配が大きく車いす等が直進しにくい箇所（主な箇所）

5-1 銀座通り～幸来橋（（主）栃木佐野線）

5-2 旧福田屋百貨店北側市道（市道 A1）

5-3 常盤橋

5-4 巴波川東側の遊歩道

※その他の歩道で車が入りする切り下げ箇所多数



⑥点字ブロックが認識しにくい（主な箇所）

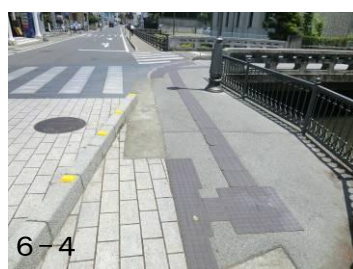
6-1 新栃木駅東口駅前広場及び周辺道路（劣色による）

6-2 みつわ通り（色が舗装タイルと同じ）

6-3 旧福田屋百貨店北側の市道（市道 A1）（県道との色違い）

6-4 市役所通り（市道 106）（色が茶系）

（注）点字ブロック：正式名称は「視覚障害者誘導用ブロック」という。



⑦点字ブロックがない（主な箇所）

- 7-1 蔵の街大通り万町交差点から栃木駅方面（（主）栃木藤岡線）
- 7-2 蔵の街大通りヤオハンプラザの交差点から北側（（主）宇都宮亀和田栃木線）

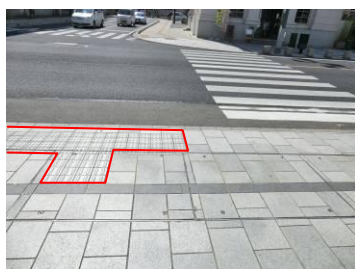


7-1

7-2

⑧点字ブロックと横断歩道の位置が不整合（主な箇所）

- 8-1 蔵の街大通りの旧福田屋百貨店前交差点



⑨夜暗い（主な箇所）

- 9-1 蔵の街大通りの万町交番から北側（（主）宇都宮亀和田栃木線）
- 9-2 栃木駅南口駅前通り（市道 104）



9-1

⑩電柱などの支障物があり危険（主な箇所）

- 10-1 旧福田屋百貨店北側の市道（市道 A1）
- 10-2 下都賀庁舎付近交差点
- 10-3 文化会館前交差点



10-1



10-3

⑪木の枝などが道路にはみ出しており通行に支障（主な箇所）

11-1 市役所通り（市道106）ほか



⑫信号時間が長いため歩行者が赤横断して危険（主な箇所）

12-1 栃木駅北口の交差点



⑬音響式信号にしてほしい箇所（主な箇所）

13-1 山車会館前の交差点

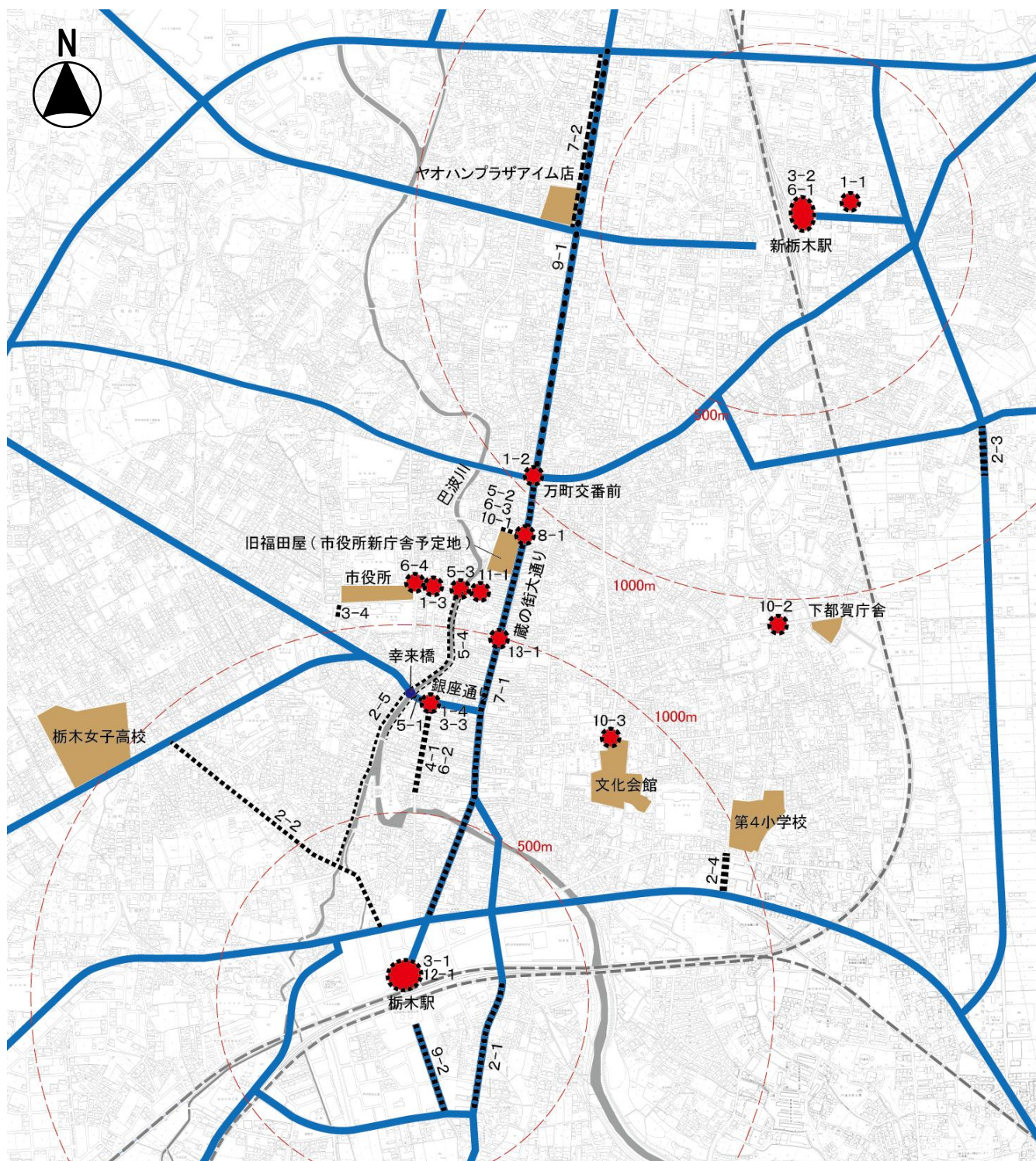


⑭その他意見・感想等

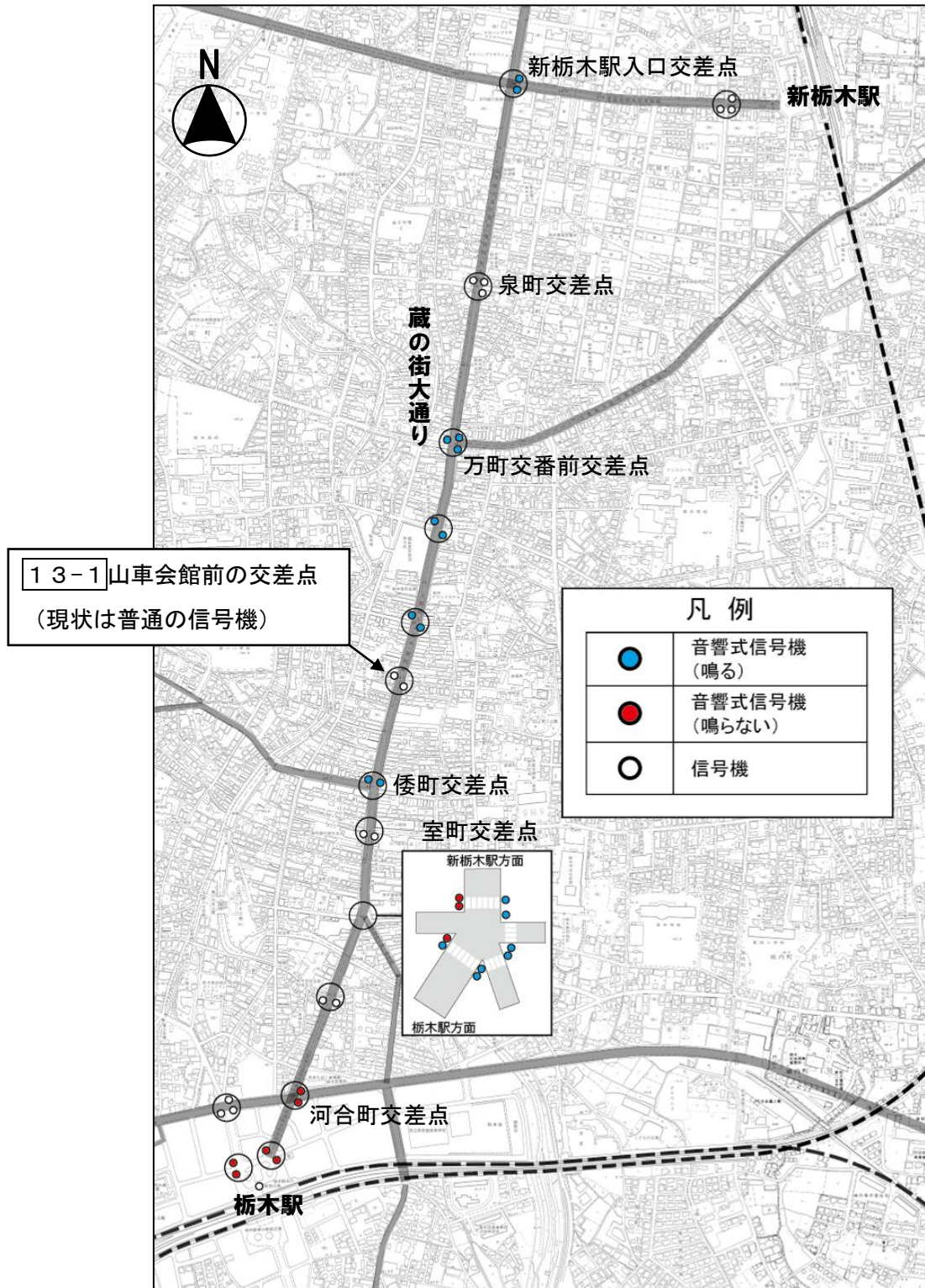
- 自転車、電動車いす用の通路の確保と明示を進めてほしい。
- インターロッキングは小さな段差や木の根による盛り上がり気になる。
- 微妙な段差はつまづきの原因になるので段差の有無を明確にしたほうがよい。
- 点字ブロックは黄色が原則である。
- 点字ブロックの必要性について再考すべき。視覚障がい者にとって、点字ブロックを設けるよりもガイドボランティアを充実させたほうがよい。
- 点字ブロックは杖が引っ掛かる。
- 点字ブロックは車いすに揺れが生じる。
- 歩道の整備をお願いしたい。道幅が狭い道路は一方通行にするべきである。
- 信号機のある横断歩道には両側に柵を立ててほしい。

- 街中で転んで立上がる時に掴まれるポールなどがあるとよい。
- 少しの段差や勾配でも車いすの通行は困難になる。
- 標識の看板にひらがな表記やイラストがあるとわかりやすい。
- 電柱が地中化してあると歩道が広く感じる。
- 観光都市なのに観光コースの中に休憩施設（ベンチや上屋）が少ない。

道路に関する主な課題箇所（箇所番号と対応）



栃木駅から新栃木駅における信号機の状況図



(4) 路外駐車場について

①蔵の街第1 駐車場

- 障がい者用駐車場がない。
- 公衆トイレあり（多機能トイレ、小便器手すり等あり）



②蔵の街第3 駐車場

- 障がい者用駐車場がない。
- 砂利敷きのため車いすの通行が困難である。



③蔵の街第5 駐車場

- 障がい者用駐車場がない。
- 第1 駐車場と第3 駐車場は蔵の街大通りに面しているが、第5 駐車場は場所が奥まっている上、進入路も狭いため来街者にはわかりづらい。うずま公園に隣接しているため、公園用駐車場としての利便性はよい。



④その他の意見

- 新栃木駅にも24時間対応の駐輪場がほしい（民間駐輪場は閉鎖時間がはやいため）。
- 栃木駅周辺の民間駐車場に障がい者用駐車場がない。

(5) 都市公園等について

①蔵の街広場

- 広場内だけでなく道路側にもベンチがほしい。
- 多機能トイレが使えない（いたずら防止のため）。



②第二公園

- 酔っ払いや大声を出す人が多く利用しづらい。
- 多機能トイレが使えない（いたずら防止のため）。
- 小便器に手すりがない。
- 水飲み場2カ所のうち1カ所が車いす対応ではない。



③瀬戸河原公園・うずま公園

- 公園間の橋の勾配がきつい（車いす利用が困難）。
- ベンチが劣化している。
- 小便器に手すりがない。
- 多機能トイレがない。
- 瀬戸河原公園の水飲み場が車いすに対応していない。



④栃木駅南公園

- 3カ所の出入口のうち2カ所に1.5mの水平面（車いす用）がない。
- トイレの小便器に手すりがない。多機能トイレが使えない。
- 出入口と水飲み場の周囲が芝生のため車いすで利用しにくい。



(6) 建築物等について

①公共公益施設

【栃木市役所】

- 一部に自動扉でないものがあり、高齢者や車いすの方は不便だと思う。
- 市役所はベビーカーで利用するには狭い。
- 福祉庁舎の駐車場マナーが悪い（車いす用駐車場に一般車が停めている）。

【栃木図書館】

- 点字ブロックの色がグレーのため認識しづらい。

【栃木文化会館】

- エレベーターの乗り場がわかりにくい。
- 1階のトイレは便器数が少ない。
- 駐車場が舗装されていない。
- 正面玄関にタクシー乗り入れができない。

②病院・福祉施設

- 下都賀総合病院、とちの木病院、西方病院の廊下が狭いので、車いすがすれ違える広さがほしい。
- 保健福祉センターの階段手すりが数段分足りない。

③公衆トイレ

- 栃木駅前の公衆トイレは和式ばかりで使いづらい（公衆トイレ共通事項）。
- 観光用のトイレが少ない。案内も少ない。
- 多機能トイレが施錠されていて使えない所が多い（いたずら防止のため）。

④建築物等全般

- ピロティ（雨に濡れずに車の乗降ができる屋根）があると便利である。
- 杖置き場があるとよい。
- 出入口に音声案内があるとよい。
- 雨の日は床が滑りやすい。
- 階段の傾斜がきつい。
- 使いづらい場所にスロープが設置されていたり、多機能トイレの場所がわかりにくいなど、改善すべき点が多くある。
- 高齢者や障がい者にとって、施設が点在していることが不便なので、できるだけまとめて用事が済ませられればよい。

(7) バス・タクシーについて

①バス

- 駅前及び街中のバス停には複数の標識が立っており、時刻表も小さくわかりにくい。高齢者でもコース（路線）がわかるようにしてほしい。
- バスの本数が少ない。主要な停留所を何カ所か設け、乗り換えてどの方面へも行けるようにしてほしい。
- バスで栃木駅に11時15分に到着するが、乗り換えるバスが11時15分に発車してしまうので余裕がない。
- 手を上げた場所でバスに乗れたらよい。
- バス利用者が少なくもったいない面もみられる。自治会などを通じて意見をもらったらどうか。
- 回送時なのか、路地のような細い道を通っていることがしばしば見られる。
- ふれあいバスの運転手は高齢者の荷物を手伝ったり親切である。
- レトロバスは乗降が楽である。
- バス停にはベンチがほしい。



②タクシー

【一般タクシー】

- 福祉タクシーについて、施設ごとに職務に従事しながら運転手も兼務する人がいて、利用者が頼んだ時点でタクシーを出してくれるシステムになれば大変便利かと思う。
- 高齢のため外出はタクシーしか利用できない。一定区間のみでよいからタクシーの無料乗車券か割引乗車券を発行していただくと有難い。
- 一般タクシーは料金が高くて利用しづらい。
- 一般タクシーの運転手はみな親切である。
- タクシー運転手にも観光案内ができるよう指導してほしい。

【蔵タク】

- 片柳1丁目はバスが利用しにくいいため蔵タクを土日も走らせてほしい。
- 蔵タクを利用している人から“随分待たされる”と聞いたことがある。
- 予約が1時間前からでなく、30分刻みになると便利である。
- 蔵タクは便利だが、帰りが出先から電話できず困る。
- 蔵タクは車いすでも利用できるとよい（実際は可能）。

(8) 全般的な意見

- 今はまだ丈夫だが、これからバリアフリーの大切さがわかる時が必ずくる。
- 今はまだ50代だが、10年後、20年後のことを考えるとバリアフリー化は必要だと思う。
- 困っている人を見かけたら手を貸してあげるなど、心のバリアフリーが大事である。
- 歩行者がいるときは車が速度を落とすなど、心のバリアフリー教育も子供のうちから行うことが必要である。
- バリアフリー以前の問題として、車や自転車の交通マナーがなっていない。
- 栃木駅や公園など、治安の悪さが問題であることを肝に銘じるべきである。
- 公共トイレなどにAEDを設置してほしい。
- 高齢者だけでなく、乳幼児や子供に対しても眼を向けてほしい。
- 観光地図は、地元住民の目線ではなく来訪者の目線でつくとわかりにくい。他の観光地を勉強すべきである。
- 交通事故データを分析して安全な施設づくりをしてほしい。
- 普段は車移動だが、去年の大震災のあと、少しの間だが自転車生活をしてみてバリアフリーのありがたみを思い知った。

3. 観光客の意向（来訪者の意向）

平成22年度に市が実施した「栃木市観光基礎調査／平成23年3月」において、観光で「蔵の街」を訪れる人のバリアフリー等に関する意向は以下のとおり整理されます。特に、「わかりやすさ」、「トイレ」、「駐車場」などの充実に関する意向が伺えます。

「蔵の街」を訪れる人のバリアフリー等に関する意向（抽出）

- 市内バスの運転手が街のガイドを行ってくれてよかった。
- 地図等の案内が about すぎて困った。
- 案内板が少ない。
- 街はキレイでよいが、案内版や標識が不足している。
- 道路標識等の設置が少ないように感じた。
- 標識、マップなど充実していてわかりやすい。
- 車のスピードが速くて怖い。
- 落ち着いた街でよかった。
- 駐車場とトイレが少ない。
- 駐車場が広がり、もっと便利になってほしい。
- 道幅が広くて歩きやすい。
- 歩道から車道が危なく渡りづらい。
- お店などで手作りのマップを作っているのは初心者には嬉しい。
- 蔵の街のホームページを充実させてわかりやすくするとよい。
- パンフレットを見ながら歩いていると、“こんな所に車が”と思うことが何度もあって危なかった。

（参考）「蔵の街」の案内サインの現状例

